



原田たかし活動報告

夜間中学「学びヶ丘中学校」開校

4月21日(火)、大分市上野丘に県内初となる夜間中学の大分県立学びヶ丘中学校が開校しました。家庭の事情などで十分な学びができないまま義務教育期間を終えた方や外国人らを対象に、学び直しの場を提供するものです。今年度は10～80代の36人(うち外国籍の生徒5人)が入学されています。



5月12日(火)、文教警察委員会の県内所管事務調査で学びヶ丘中学校を訪問。山川校長から学校経営方針を聞いた後、校内を見学させていただきました。夕刻に登校されてきた生徒の皆さんはまず給食。その後、授業を受けられていました。みなさん、熱心に授業に参加されており、高齢者の生徒の方にはサポーターの方が付かれていました。



生徒の最年長は、スーパーボランティアとして知られる尾島春夫さん(86歳)。尾島さんは小学5年で農家に奉公に出され、中学校卒業までほとんど学校に行けなかったとのこと。65歳まで営んでいた別府の鮮魚店を閉めた後、機会があれば学び直したいとずっと思っていたところ、夜間中学の開校を知り迷うことなく入学を申し込んだそうです。

尾島さんは「学ぶのは楽しいで」と明るく話されていましたが、夜間中学に入学される方々はみなさん強い思いを持っているのだろうと感じました。



尾島さんの承諾をいただき写真を掲載しています

私の所属する県民クラブではこれまで夜間中学の設置活動を進めてきました。念願ともいえる夜間中学の開校を心から歓迎するとともに、この夜間中学で多くの方々が安心して学び直すことができるよう環境整備にも引き続き取り組んでいきます。



別府やまなみ支援学校開校

大分県立南石垣支援学校が県立羽室台高校跡地に移転し、今春から大分県立別府やまなみ支援学校として開校しました。

第3次大分県特別支援教育推進計画に基づいて、特別支援学校設置基準を満たす運動場を確保し、これまで以上に障がいのある特性に応じた教育活動を進めるため移転しました。



「地域に開かれた学校」をめざし、ホテル実習室、パソコン室兼販売受注室など職業教育のための環境整備、ギャラリースペース、運動場、体育館、園庭等が整備されています。バリアフリー改修や自校式給食などの安全・安心な学生生活のための環境も整備されました。また、別府湾を一望できるロケーションの喫茶実習室もあり、一般の方もカフェとして利用できるそうです。



ホテル実習室は洋式と和式の部屋やバストイレがありました



5月20日(水)、別府市議会・市民クラブの加藤信康議員、森山義治議員、三重忠昭議員とともに別府やまなみ支援学校を訪ねました。

というのも、市民クラブの皆さん方から「学校、とりわけ特別支援学校は地域の方々の協力により活動が広がると思うので、訪問してお話をお聞きたい」との要請があり、この日の訪問となりました。

市議のみなさん方もそうですが、別府市民の方々も、新しい支援学校にそれぞれ期待するものがあるのだと感じています。

例えば、別府の基幹産業である観光産業に関わるホテル実習室を設けて就労に繋がる取り組みも注目されていますし、喫茶実習室やギャラリースペースは「一度、学校に行ってみようか」と誘う新しい取り組みだと思います。



喫茶実習室で使用する皿は日出支援学校で作られたそうです

